

大磯町の高齢者の現状と介護保険制度

高齢者を取り巻く環境は、近年めまぐるしいほどの変化を遂げています。

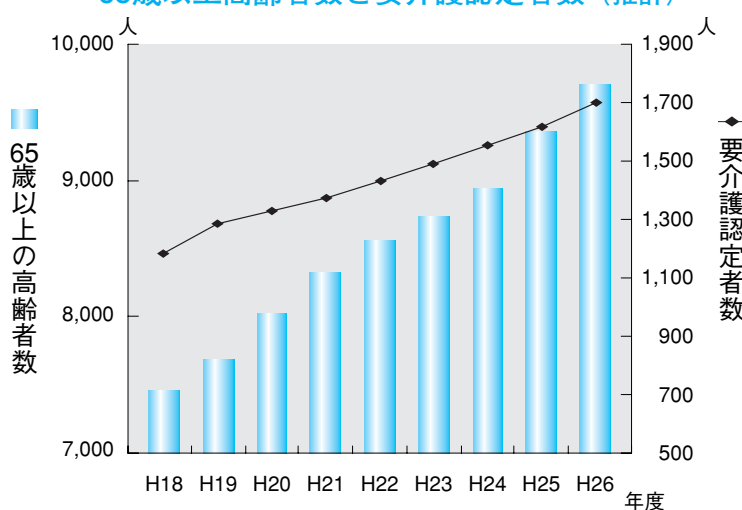
平成21年度から始まる第4期高齢者保健福祉計画に向け、皆様と介護保険制度について考えていくために、高齢者の現状と介護保険制度のこれからをお知らせします。



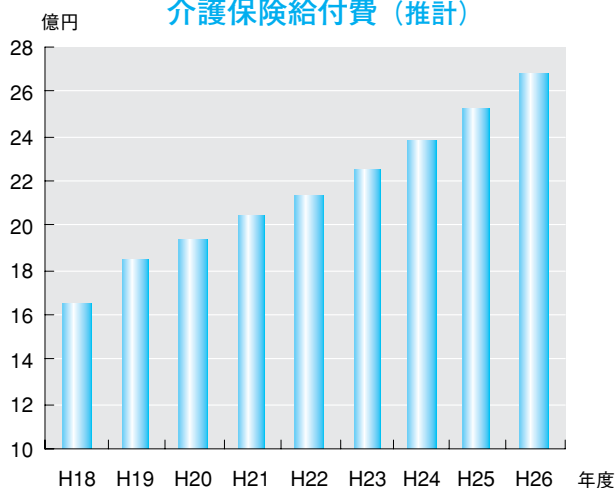
進む高齢化と 要介護認定者の増大

現在、大磯町には65歳以上の方が約8,000人います。今後、平成23年度までに約8,800人、平成26年度までには約9,700人になり、そのうち介護認定を受けてサービスを利用している人は、現在約1,300人、平成23年度には約1,500人、平成26年度には約1,800人になることが推計されます。

65歳以上高齢者数と要介護認定者数（推計）



介護保険給付費（推計）



増え続ける介護保険給付費

平成19年度中にかかった介護保険給付費は約18億円で、介護保険制度が始まった平成12年と比べ約2倍に膨れ上がっています。介護が必要な方がこのまま増加していくと、介護保険給付費は平成23年度には約22億5千万円、平成26年度には約27億円になると見込まれ、介護保険財政は約1.5倍になると推計されます。

増加する介護保険給付費を抑制するためにも、高齢者の健康づくりが重要になります。

皆で支える 介護保険

町の介護保険事業は、皆様からの介護保険料と国・県・町からの負担金等で運営しています。65歳以上の方の介護保険料は、制度運営の約19%を占める大切なものです。介護サービスに係る費用などに応じて市町村ごとに基準額が決定され、3年ごとに見直しが行われます。制度の健全な運営のために保険料の納付にご理解とご協力をお願いします。